

富士紀行 (37) 富士学校校歌 (追記 : H13/1/31 ・ 作詞 /作曲者紹介)

先般富士学校学生の卒業式に来賓として参列して頂いた方と話していたとき、「富士学校の校歌なるものを須走に永年住んでいるけれども初めて聞いた。」と言われて少々吃驚した。従って、小生のホームページでも富士学校の校歌を公開することが使命であると信じてアップした次第である。

[校歌を流します。お楽しみ下さい。](#)

歌詞 作詞 堀内敬三

作曲 信時 潔

[1 番]

輝く富士の峰高く緑は深し裾野原
天地の靈氣凝 (こ) るところ道義に勇 (いさ) む健児等が
自衛の学と技 (ぎ) と徳を求めて鍛 (きた) う富士学校

[2 番]

一 (ひと) たび死して焔 (ほのお) より七度 (ななたび) 生 (い) くる不死 (ふじ) の鳥
わが悠遠 (ゆうえん) の祖国をば自ら護 (まも) り難局に
進みて当るこの気魄 (きはく) 培 (つちか) う庭ぞ富士学校

[3 番]

あ、玲瓏の雄峰を仰ぎて集 (つど) う友あまた
和楽の睦びたのもしく力を協 (あわ) せ万邦 (ばんぼう) に
慈愛と平和充 (み) たすべき理想は高し富士学校

作詞・作曲者紹介

● 作詞：堀内敬三 (1897～1983)日本の音楽評論家

米留から帰国後、NHKや松竹映画の音楽部長、日大教授等を歴任。著書に「音楽50年史」「音楽の泉」など多数。唱歌「冬の星座」の作詞者は富士学校校歌と同じく堀内敬三です。

木枯とだえてさゆる空より地上に降りしく奇しき光よ
ものみないこえるしじまの中にきらめき揺れつつ星座はめぐる ♪

● 作曲：信時潔(1887～1965) 日本の作曲家

東京音楽学校卒、ドイツから帰国後音楽学校教授、作品「海ゆかば」「沙羅」等

校歌作成の経緯や思い或いは作詞・作曲にまつわる話など収集中です。乞う御期待！